

道徳通信

川北町立川北中学校 平成27年12月14日(月) NO. 3



◆◇川北町「人と地域を生かした道徳教育講座」を終えて◇◇

11月25日(水)、川北中学校において、「人と地域を生かした道徳教育講座」が行われました。2年間のいしかわ道徳教育推進事業という県指定の事業で、今年度が2年目でした。発表当日は、川北町内外から多数の先生方にご参加いただきました。また、川北中学校育友会からも多数のご参加をいただきました。本当にありがとうございました。当日の様子を紹介します。

各学年の公開授業の様子

～1年生～「お碗の花びら」



～2年生～「名のない和菓子」



～3年生～「昭和九年の大水害」



意見交換会の様子

学年ごとに、川北町内外の教員や育友会の保護者の方、地域の方を交えて意見交流を行いました。話題に上った内容について紹介します。

＜3年＞

- ・郷土を作り上げてきた先人の思いや努力を知り、今自分たちに何ができるかを考える授業であった。
- ・資料「昭和九年の大水害」は、実際に自分たちの地域であった話なので、入りやすい資料であった。

・「昭和九年」については小四でも学んでいるが、改めてのゲストティーチャーの話は良かった。また、地域の方から、橘の話が聞けた。

（保護者より）

- ・子ども達には、「道徳の時間」を自分と向き合う時間にしてほしい。
- ・家では子どもに対して、「努力すること」「頼まれたときの協力」「思いやりを持つ」等、相手の事を考えて行動し、信用・期待を得られる人間になるよう意識して育てている。
- ・子どもの人格の形成を大切にしてほしい。

＜2年＞

- ・多くの人の善意に感謝することをねらいとした公開授業であった。資料を通して、いろんな人が影で支えてくれているおかげで今の自分があるということに気づかせる授業であった。

（保護者より）

- ・家では、子供たちに居心地を良くするようにしている。
- ・共感し受け入れつつ、しめるところはしめている。
- ・成長を確認していける授業をしてほしい。地域とのつながりも大切にしてほしい。

＜1年＞

- ・便利さ、新しさにとらわれて物の価値を判断するのではなく、人の思いや伝統から判断できる力をつけることをねらいとした公開授業であった。

（保護者より）

- ・道徳は正解はないので、自分の思いを言える時間であってほしい。
- ・家では自分の思いを伝えられるよう、話、コミュニケーションをとるようにしている。
- ・学んだことが実生活に結びついていけば良い。（子ども達には）実践につなげていってほしい。
- ・家では会話が少ないが、ニュースを話題に話し合うようにしている。



全体会・講演会の様子

全体会では本校の研究の紹介の後、大阪教育大学名誉教授の藤永芳純氏による講演がありました。「家庭・地域と連携した心に響く道徳教育」という題で行なわれた講演は、公開授業で使用した地域教材についての講評から始まり、道徳教育の価値、子供たちの心の成長への効果、これからの道徳教育について話し合われました。

※道徳は「特別な教科」として格上げされ、中学校では2019年度から教科書に基づく授業が行なわれます。また、これからの道徳では、総合的な学習の時間のように、記述による評価が行なわれることとなりますので、お知りおき下さい。



<道徳コラム>

凡事徹底…「誰にでもできる平凡なことを、誰にもできないくらい徹底して続けること」

皆さんは右の写真の人物を知っていますか。この方は自動車用品の卸、販売会社「イエローハット」の社長をしていた鍵山秀三郎（かぎやま ひでさぶろう）さんです。今では「イエローハット」といえば、全国に300店以上もある大会社で最近ではCMでも有名です。



鍵山さんは一代で「イエローハット」を創り上げた方ですが、この方が創業当時より大切にされていたことが、トイレ掃除なのです。しかも、鍵山さんは素手でトイレの便器を磨きます。実際に磨いた後の便器はそれでビールがのめるくらいにきれいだそうです。とにかく、毎日徹底的に磨き上げるのです。

なぜ、そこまでしてトイレ掃除を頑張るか？その理由は社員の方々の心を癒したいということから始まったとのこと。きっかけは相手を思う些細なことかもしれませんが、相手を思い、自分にできることをやり続けた鍵山さんの生き方からさまざまなことを学ぶことができるのではないのでしょうか。

私が人生でなぜ掃除を大切にしてきたかという、そこからいろいろ学ぶことができるからです。トイレ掃除をするとき人は上ではなく下を向く。この姿勢を通して人は謙虚になれるのです。まじめに作業を続けることで忍耐力が養われ、感動や爽快感も味わうことができる。どんなささいなことでも人に喜ばれる活動が続ければ、人や社会を変える力にもなります。

創業時に入社してきた社員は、いろいろなところを渡り歩いた人が大半で、心がすさんでいる人もいました。彼らに心穏やかに働いてもらうにはどうしたらいいか。言葉や文章で伝えるのが苦手な私は「職場をきれいにすれば社員の心も変わる」と考えました。人間は見ているものに心が似ていくからです。荒れ放題の中にいればどんな人でも気持ちが荒れるし、清められたところにいれば心も和むものなのです。意を決すると早速、会社朝早く行って従業員の車を全部洗い始めました。従業員は関心を示さないどころか、トイレ掃除をしている横で平気で用を足すという状況です。何度もやめようと思いましたが、1年、5年、10年と続けるうちに社員たちに変化が出てきました。反発しながらも、いつつく冬でもはだして洗車をしている「親の背中」を見ていたのでしょうか。車やトイレの掃除を徹底してやるようになった彼らは、美しいトイレの心地よさを感じると、オフィスもきれいにしました。そして会社の周辺の掃除までやるようになったのです。みんなが力を合わせてきれいにすることで、社内にも協調性や連帯感が生まれてきました。

（鍵山さんの書物より引用抜粋）



保護者の方からご意見をいただきました。

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をありがとうございます。このおたよりを通して学校での実践の様子が伝われば幸いです。前号では、川北中学校の「道徳」についてご質問やご意見、アドバイスなどをお願いしましたところ、次のようなご意見をいただきました。これからもこのような意見に答えられるよう努めていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

～保護者の方より～

- ・「道徳」という授業に入るのかわかりませんが、年齢に関係なく、五感で感じることや、授業に人が来て経験談を話されたこと、映画で観たことは、とても心に残っているように思います。
- ・子供から道徳の内容を聞き、道徳を通じて、人のため、そして自分のためには何をしたらよいかを学べていると感じた。道徳通信にある“あいさつ”の大切さについては引き続き教えて欲しい。
- ・中学生は小学生とは違うため、今まで以上に自分で考え行動していかなければいけないと思うので、そのためには道徳の時間は必要ですね。相手を思いやれる子になるような授業を望みます。

鍵山秀三郎「凡事徹底」カレンダー

※鍵山秀三郎氏＝日本を美しくする会相談役、イエローハット相談役

1日	ひとつ拾えばひとつだけきれいになる	足元のゴミを拾う実践から始め、習慣となる
2日	盥（たらい）に一滴の水	小さな努力の積み重ねの大切さ
3日	小さな自信を大きく育てる	小さな成功体験や達成感が、大きな意欲と自信に！
4日	毎日できるだけ少しずつ	良いと思ったことは即時即行、ちりも積もれば・・
5日	絶対肯定 絶対安心 絶対感謝	肯定できる信頼関係が、安心と感謝を生みだします
6日	感謝の心が真の働きを生み出す	謙虚に喜び感謝することで行動に命が吹き込まれる
7日	深めると広がる	現状維持は後退だ、深め、レベルアップ！
8日	できるだけ譲る	譲っても遠回りではない、謙虚に、謙虚に
9日	攀念智（はんねんち）をもたない	攀念智とは、人を恨む・憎むこと、不幸のもとです
10日	与えられた枠を使い尽くさない	枠を使い尽くすと枠が狭まります
11日	良樹細根（りょうじゅさいこん）	広く深く細く根を張らないと大樹にならない
12日	骨惜しみをすると心が荒む	骨惜しみが手抜きになり愛情がなく心が荒む
13日	工夫をすれば継続できる	工夫すると楽しくなり、継続でき、身についてくる
14日	唾面自乾（だめんじかん）	屈辱の場面でも、心乱さず、耐えること
15日	平凡なことを非凡に努める	平凡なことを徹底して続ければ、大きな非凡を知る
16日	大きな努力で小さな成果を	小さな成果でも大きな努力が自信となります
17日	こころのムダ遣いをしない	ムダ遣いで、心のムダ遣いが最も大きなムダ遣い
18日	箸よく盤水を回す	根気よく努力すれば大きな成果となる
19日	誰にでもできる簡単なことで差をつける	世の中は簡単なことの積み重ね、継続は力なり！
20日	工夫次第 努力次第 自分次第	言い訳をしない！人のせいにしない！嘘をつかない！
21日	掃除をすると心が磨かれる 謙虚になれる 気づく人になれる 感動の心が育まれる 感謝の心が芽生える	掃除を心から、一生懸命する人は、輝いている 一掃除の神様、鍵山先生の実践にもとづく名言一
22日	大事なことは全て手間がかかって難しいもの	打ち込めば打ち込むほど困難に遭遇する
23日	十年偉大なり 二十年畏るべし 三十年歴史になる	心を込めて、本気でやれば大きな力になる
24日	相対差より絶対差	相対差は周囲との比較、絶対差は自分との比較
25日	鄙事多能（ひじたのう） 鄙事＝些細、多能＝器用 （「恕」の心の 孔子 のことば）	練達者は平凡なことをマメにこなす人のこと （子どものころ貧しく、どんな仕事もこなした孔子）
26日	感謝するから幸せになれる	誰に対しても、小さな事でも、感謝するから幸せになれる
27日	霜に打たれた柿の味 辛苦に耐えた人の味	霜に打たれた渋柿は美味、苦勞を重ねたした人は魅力的
28日	運命はその人の性格の中にあり （芥川龍之介のことば）	物事を成し遂げるのは、才能ではなく性格です （性格を変えるには考え方と習慣を変える→人生が変わる）
29日	微差・僅差を大切にする	何事にも毎日の努力の積み重ねで差が生まれる
30日	丁寧に暮らせば心が豊かになる	名は体を現すように、作法は心を導きます
31日	唱道の人多けれど 行道の人少なし	言葉でいいことを説いても行動が伴わなければ何も変わらない。

